

担任の先生へ

保護者名: _____

私の子どもはフォン・ヴィレブランド病です。

【フォン・ヴィレブランド病ってどんな病気?】

- 人の血液の中には、けがなどで出血した時に血を固めるために働くタンパク質(血液凝固因子)が存在しています。フォン・ヴィレブランド病は、止血に必要なタンパク質の 1 つであるフォン・ヴィレブランド因子が不足しているので、出血すると血が止まり難い疾患です。
- 粘膜や皮下の出血など表在部分の出血が多いのが特徴です。
- 遺伝性の病気なので、他の生徒にうつることはありません。

【いつも行っている対策は?】

- 凝固因子製剤(製剤名: _____)を静脈内に注射します。
- 注射方法は...
 - 出血が起きた時すぐに(どこ: _____)で注射します(オンデマンド療法)。
 - 出血予防のために、週に数回、(いつ: 朝 / 昼 / 夜)(どこ: _____)で注射しています(定期補充療法)。

【学校ではどんなことに気をつければいいの?】

- フォン・ヴィレブランド病は、日常生活に支障ありません。
幼稚園では(こんな風: _____)に過ごし、
(_____)や(_____)にも参加して、たくさんの思い出をつくりました。
- 体に激しい衝撃が加わるような活動は避けてください。
特に、頭を激しくぶつけるなどした場合は、すみやかに緊急連絡先にご連絡ください。

活動内容	対応や注意点
体育	基本的には問題なく参加できます。 ただし、サッカーのヘディングや柔道のように頭や体を強く打つようなものは、避けてください。 運動会やマラソンなどに参加する際は、事前の注射で出血を予防します。
給食	フォン・ヴィレブランド病では食事の制限等はありません。
課外授業 (遠足・修学旅行)	必要に応じて、事前の注射で出血を予防します。 また、製剤を持参させる場合がありますので、保管等ご協力をお願いします。
その他	学校でお薬をもらう際にはご連絡をお願いします。 ※解熱・鎮痛剤などには止血を妨げる物質が含まれる場合があります。

圧迫止血と患部の冷却の仕方

圧迫止血



患部の冷却



【出血が起きたときはどうしたらいいの？】

- 出血時の対処は“RICE”が基本です(安静=rest, 冷却=ice, 圧迫=compression, 挙上=elevation)。

出血箇所や原因	症状	応急処置や対応	緊急度
頭部	出血・打撲 激しい頭痛 (症状が無い場合も)	すぐに家族や病院に連絡	(高)
のど・首	出血・痛み	すぐに家族や病院に連絡	
関節・筋肉	腫れ、痛み	氷のうや冷却シートなどで冷却し、改善しない場合は家族や病院に連絡	
口腔内	出血	可能であれば圧迫止血し、難しければ家族や病院に連絡	
すり傷・切り傷	軽い出血	清潔なガーゼなどで圧迫	
鼻腔	鼻血	ワセリンなどを塗った綿を鼻に詰め、氷のうなどで冷却または圧迫	(低)

※ 応急処置を行っても止血できない・痛みが治まらない場合、対処法が分からぬ場合は、緊急連絡先にご連絡ください。

【緊急連絡先】

- 保護者への連絡先

自宅 (TEL _____ - _____ - _____)

父(_____) 職場 (TEL _____ - _____ - _____), 携帯 (TEL _____ - _____ - _____)

母(_____) 職場 (TEL _____ - _____ - _____), 携帯 (TEL _____ - _____ - _____)

- かかりつけの病院・主治医

病院名(_____) (TEL _____ - _____ - _____)

主治医(_____ 先生) (TEL _____ - _____ - _____)

※ もっと Fon-Villebrand 病について知りたいときは、主治医または保護者にお尋ねください。

【特記事項】